

分科会開催報告書

報告日 令和3年 12月 2日 (木)	報告者 小幡友子
分科会名 浮雲俳句会	開催テーマ 第153回浮雲俳句会
開催日時 令和3年 11月28日 (日) 午前10時～12時	開催場所 いきいきセンター晴嵐かなざわ第一会議室
参加人数 浮雲俳句会会員 男8名 女5名	合計13名 欠席者 1名

実施内容

第153回浮雲俳句会例会は、兼題「時候・天文（初冬）」から1句と当季雑詠3句。合計4句。句会は、西村あきえ会員による選句の披講の後、全会員各々が、特選句に選んだ句の選評をした。続いて、月当番による添削披露の後、作品に対する質問や意見を述べ合った。最後に、全会員で、特選句6句を選んだ。

特選句	夕映えの葉裏透きゆく冬紅葉	和 女
	垣根越しつい長話小春かな	とも女
	小春日や肺の底まで陽を入れむ	和 女
	落葉舞ふおもてもうらも見せながら	とも女
	老夫婦無言の朝餉根深汁	三 洋
	三浦海岸懸大根が日を弾く	祥 代

次回の予定

令和3年12月26日 (日) 午前10時～12時
「第154回例会」は、いきいきセンター晴嵐かなざわ
兼題は、「空」を入れた一句。他に当季雑詠3句。合計4句。
披講 太田重九会員。